

NPO講座でパネリスト参加

セイコー運輸 ■ 高齢者むけ引越し紹介

【大阪】セイコー運輸(宮高浩社長、大阪市住之江区)の宮高専務は9月27日、「コミュニティビジネス(CB) / ソーシャルビジネス(SB) アドバイザー育成講座」でパネリストを務めた。

中小の勝ち残り策

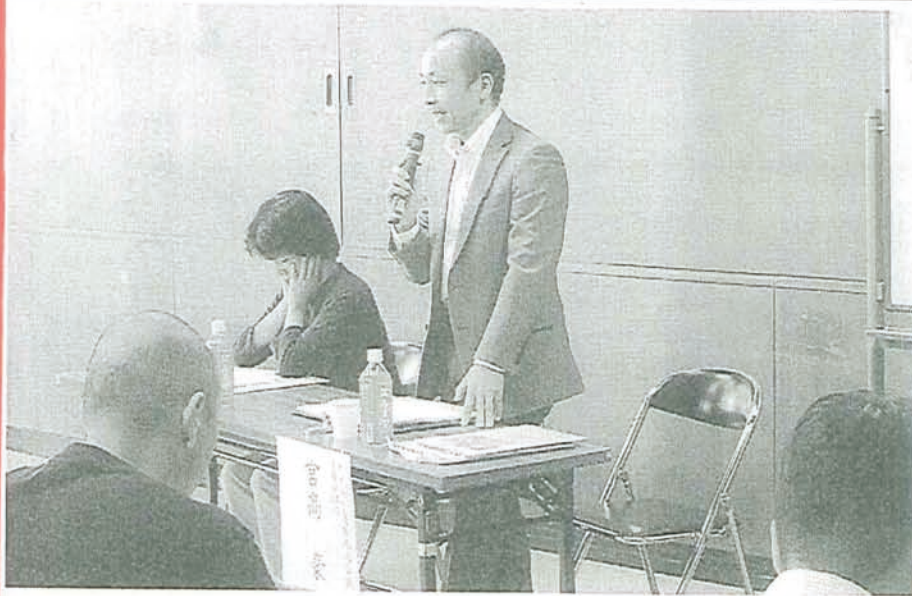
同講座は、特定非営利活動法人(NPO)「大阪NPOセンター」(金井宏実代表理事)が主催。地域、社会の問題をビジネス的手法によって解決するCBおよびSBを実践している事例として、同社の高齢者向け引越しサービスが選ばれた。

「大手企業が入ってきた時に勝つ自信はあるか」「行政に何を期待するか」といった意見が出された。

(水野 正博)

大阪市内の各区役所や社会福祉協議会の職員60人を前に、宮高氏は自社の事業内容や引越しの顧客ターゲットを高齢者に絞った経緯などを紹介。大手企業による寡占化に加え、運賃競争が厳しくなる中、「中小企業が勝ち残るためには、誰もやらないことをやろうと思った」と話した。

質疑では「社員と意識の共有をする上で大切にしていく」とは何か、「社会情勢が変化したと感ずる象徴



区役所職員らを前に自社の事業内容などを紹介する宮高専務

繰越不足459億円に

10年度も59億円計上

大貨年金

【大阪】大阪府貨物運送厚生年金基金(振津泰弘理事長)は9月26日、代議員会を開き、2010年度決算を承認した。

振津理事長が「10年度の資産運用利回りはマイナス4.03%となり、当年度不足金59億円を計上することになった。一方、業務会計

と福祉施設会計では経費削減の効果がみられ、剰余金を計上することができた。株価の大幅下落で厳しい運営環境が続くが、今後も協力をお願いしたい」とあいさつ。

決算は、年金経理が収入209億1144万円、支出268億7743億円



あいさつする振津理事長

で、当年度不足金59億6598万円を計上。繰り越し不足金は459億5471万円。

業務経理は、業務会計が収入1億6121万円、支出1億3299万円で、剰

余金28221万円となった。また、福祉施設会計でも収入700万円、支出652万円で、剰余金47万円を計上した。

財政検証の結果、継続基準で1000分の16、非継続基準で1000分の9の掛け金率引き上げが必要になる。しかし、厳しい経営状況下での大幅な掛け金アップは難しく、今年度の運用実績をみた上で対応を検討する。

このほか、業務効率化と

【奈良】協会(藤子供のため、県トツプマている。運動の間に9月21日の間に自治体やく評価さく高田支長)では支部長とが和大高地元警察中、出

足型ストップマーク寄贈

奈ト

被

【大阪】協会は9月(吉本)の会場で、災害の特

公道使ってドラコン

安全確認・危険回避を怠らぬ

競技

